

沖澤のどかの「ペトルーシカ」、
バレエ音楽の世界へ

第691回

定期演奏会



ピアノ：
上原 彩子*
Piano: Ayako Uehara*
©武蔵野

京都市交響楽団

指揮：
沖澤 のどか(常任指揮者)
Conductor:
Nodoka Okisawa (Chief Conductor)
©京都市交響楽団

The 691st Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

2024

7/27

午後2時30分開演
(午後1時30分開場)

Sat, July 27, 2024 / 2:30PM

プロコフィエフ：ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 作品26*
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「ペトルーシカ」(1947年版)

Prokofiev: Piano Concerto No.3 in C major op.26*
Stravinsky: "Pétouchka", burlesque (1947 edition)

京都コンサートホール Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

2024.5/24から発売

入場料

¥5,500円 ¥5,000円 ¥4,000円 ¥3,000円 ¥2,000円(舞台後方席)
U22 (当日残席がある場合のみ発売) ¥2,000円 ¥1,500円 ¥1,000円 ¥1,000円

※「U22」は22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日券売場にてお問い合わせください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケット
ご予約

●京都コンサートホール (075) 711-3231 ●ロームシアター京都 (075) 746-3201
●24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード252-729
●ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード55596

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2024年7月19日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市

協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



The 691st Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

プロコフィエフは1918年にアメリカ亡命を試み、日本を經由してアメリカに入りました。その2ヶ月ほどの日本滞在中、全国を訪れ、その土地土地で聴いた郷土音楽、旋律を覚えていて、中断していた第3番のピアノ・コンチェルトに用いたとも言われています。京都にも訪れたそうなので京都らしい旋律があるかもしれません。じっくり聴き分けてみてください。初演はシカゴ。そのあとはニューヨークと続きますが高い評価は得られなかったそうです。しかしヨーロッパに渡り、パリでの初演で喝采を浴びてからは世界中の名だたるピアニストが我先にと演奏を重ね、今日では一流ピアニストの必須のレパートリーとなりました。ソロを務めるピアノの上原彩子は2002年第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門優勝という快挙を果たし、その後は国内外のオーケストラと共演。チャイコフスキーをはじめ、プロコフィエフ、ラフマニノフのロシア作品ほか、数多くのCDをリリース。その実力は益々磨かれ、国際的に活躍するピアニストの一人となりました。そして、ストラヴィンスキーの「ペトルーシカ」はセルゲイ・ディアギレフの依頼で作曲され、1911年にパリ・シャトレ座で初演されました。公演は成功をおさめたそうですが、音楽に対してはグロテスクだと非難轟々だったようです。今回沖澤のどかは初演版より色彩豊かなオーケストレーションの1947年版を使用します。京響のカラフルな音色と沖澤のどかの渾身の指揮での音楽作りをお楽しみに。

指揮 ◆ 沖澤 のどか (常任指揮者)

2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞及び聴衆賞を受賞。2018年には東京国際音楽コンクール(指揮)でも優勝(及び特別賞、齋藤秀雄賞を受賞)。第28回(2020年度)渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第21回(2022年度)齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門、第1回(2023年度)毎日芸術賞ユニクロ賞受賞。セイジ・オザワ松本フェスティバル首席客演指揮者。2020年から2022年までベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ペトレンコ氏のアシスタント。2022年3月、連邦大統領主催のベルリン・フィルのウクライナのための連帯コンサートを指揮。2022年5月ペトレンコ氏とともにカラヤン・アカデミー50周年記念公演に出演。2023/24シーズンは、パーゼル室内管、ウニベグ響、ケベック響、BBCウェールズ・ナショナル管等へのデビュー、N響の定期公演デビュー、東響及び2022/23シーズンにアーティスト・イン・レジデンスを務めたミュンヘン響へ再登場するほか、読響、新日本フィル、日本フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢等に定期的に客演。セイジ・オザワ松本フェスティバル2022でモーツァルトの歌劇『フィガロの結婚』を指揮してサイトウ・キネン・オーケストラへデビュー。N.ヤルヴィ、P.ヤルヴィ、K.マズア各氏など数多くのマスタークラスを受講。2019年のリカルド・ムーティ「イタリア・オペラ・アカデミー in 東京」指揮受講生。オーケストラ・アンサンブル金沢の指揮研究員として、また、日本とヨーロッパにおけるオペラ・プロダクションでも経験を積んだ。2020年11月東京二期会オペラ劇場公演「レハール作曲『メリー・ウィドー』」を指揮。青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で指揮を高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年には、ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでクリスティアン・エーヴァルトとハンス・ディーター・パウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。



©Felix Broedel

ピアノ ◆ 上原 彩子

3歳児のコースからヤマハ音楽教室に、1990年よりヤマハマスタークラスに在籍。ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、江口文子、浦壁信二各氏に師事。第3回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクールA部門第1位を始め多くのコンクールで入賞を果たす。2002年6月には、第12回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第1位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。これまでに国内外にて演奏活動を行い、2004年12月にはデュオ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、キングレコードより「上原彩子のくるみ割り人形」「ラフマニノフ 13の前奏曲」「上原彩子のモーツァルト&チャイコフスキー」「デビュー 20周年記念コンサート・ライブ盤」がリリースされている。2006年1月10日には「日本におけるロシア文化フェスティバル2006」オープニング・ガラコンサートでゲルギエフ指揮マリンスキー管弦楽団と共演、また、2008年9-10月にはクリスチャン・ヤルヴィ指揮ウィントーン・キュンストラ管弦楽団とのオーストリア及び日本ツアーを行い、2017年3月には、ベルリン及び日本国内4都市において、エリアフ・インバル指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共演、高い評価を受けた。東京藝術大学音楽学部早期教育リサーチセンター准教授。令和4年度文化庁長官表彰受賞。オフィシャル・ホームページ：<https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>



©武蔵章

京都市交響楽団

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収めた。平成28年度地域文化功労者表彰、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任、さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上写真事務所 井上嘉和

次回予告



広上淳一

©K.Miura



藤村実穂子

©R&G Photography

2024.6/21(金)から
発売!

第692回
定期演奏会

ついに実現! 広上淳一&藤村実穂子のマーラー交響曲第3番!

会場 京都コンサートホール・大ホール 指揮 広上 淳一 独唱 藤村 実穂子 (メゾ・ソプラノ)

合唱 京響コーラス(女声)、京都市少年合唱団

開演前プレトークあり

2024 8/23(金) 午後7時開演 **フライデー・ナイト・スペシャル**

2024 8/24(土) 午後2時30分開演

曲目 マーラー：交響曲 第3番 ニ短調 8/23(金)公演 & 8/24(土)公演共通(休憩なし)

入場料 5,500円 4,500円 3,000円 2,000円

8/23(金)公演 & 8/24(土)公演共通